

展示室1「空間往来」パネル 1/4

空間往来

徳島県立近代美術館では、人の形に注目し、人間像が表現された作品を収集しています。

今回は、絵画の中に描かれた空間や、彫刻のまわりに広がる空間に注目します。展覧会タイトル「空間往来」は、「それぞれの作品がもつ独自の空間に入り込んだような感覚で楽しんで見てもらいたい」という思いを込めました。

「絵画と空間－遠近法をめぐって」「キュビズム－空間表現の革命」「彫刻と空間」のコーナーを設け作品をご紹介します。

* 会期中、展示替えを行います。

Space and Artworks

The Tokushima Modern Art Museum focuses on the human form and collects works that express the human figure. The theme of this exhibition is the space depicted within paintings and the space surrounding sculptures. We hope you will enjoy each work as if stepping into its own unique space.

We present works in the following sections: "Painting and Space: On Perspective," "Cubism: A Revolution in Spatial Expression," and "Sculpture and Space."

* A part of this exhibition will be changed during the exhibition period.

展示室1「空間往来」パネル 2/4

絵画と空間ー遠近法をめぐって

遠近法とは、目の前に広がる三次元の空間を、二次元の平面（絵画）に立体感や奥行きをもって表すための技法です。線遠近法（透視図法）、空気遠近法、色彩遠近法など、いくつかの種類がありますが、狭義にはルネサンス期に確立・発展した、消失点に向かって線を収束させる線遠近法（透視図法）を指すこともあります。

14 世紀以降の西洋絵画、そしてそれに影響を受けた絵画などにおいて、遠近法は空間を描く手法として絶大な影響力を持ち続けました。

しかし、19 世紀末から 20 世紀初頭にかけて、伝統的な価値観を覆すような新しい芸術運動が次々と誕生し、革新的な表現が試みられるようになります。そのなかで、絵画は従来の遠近法から解き放たれていきました。

ここでは、遠近法の仕組み自体を追求したり、遠近法を用いながらあえて強調や歪みを取り入れたりして、独自の表現を生み出した現代作家の作品をご紹介します。高松次郎は、1966 年から 71 年にかけて「遠近法」シリーズに取り組みました。〈遠近法のマラソン〉では、画面上部のものほど遠く、そして小さく見えるという遠近法の約束を逆手に取っています。四宮金一は無機質な室内空間を描く作家として知られます。変形したキャンバスと歪曲された遠近法によって、実在と非実在の境界を曖昧にし、この世界の虚構性を暗示しています。

展示室1「空間往来」パネル 3/4

キュビズムー空間表現の革命

キュビズムは、20世紀初頭にパブロ・ピカソとジョルジュ・ブラックによって生み出された芸術運動です。従来の遠近法や、光と影を描写する陰影法を排し、対象を複数の視点からとらえて幾何学的な形に分解し、平面上に再構成するという革新的な試みでした。それは、これまでになかった新しい対象のとらえ方と空間表現を提示するものであり、以後の多くの芸術家に大きな影響を与えました。

ここでは、ピカソによる版画や油彩画のほか、キュビズムに影響を受けた作家の作品をご紹介します。版画集〈聖マトレル〉（前期展示）と版画集〈エルサレムの攻略〉（後期展示）は、ピカソが友人である詩人マックス・ジャコブの詩に挿絵として寄せた銅版画による詩画集です。彼がキュビズムに取り組んだ時代の版画の代表作です。

ピカソはのちに新古典主義やシュルレアリスムなどへと表現を展開していきますが、同時にキュビズムを思わせる作品も手がけています。恋人ドラ・マールを描いた〈ドラ・マールの肖像〉はその一例といえます。

また、アレクサンダー・アーキペンコ〈白いトルソ〉（前期展示）、オシップ・ザツキン〈女性立像〉（後期展示）、アンリ・ローランス〈片腕をあげて座る女〉、ジャック・リプシツ〈クラリネットを持つアルルカン〉は、キュビズムの技法を彫刻に展開した作品です。人物を多視点から見た面のかけらに分解し、それらのかけらを立体に再構成しています。

展示室1「空間往来」パネル 4/4

彫刻と空間

ここでは、彫刻とその周囲の空間に注目してみましょう。彫刻は三次元空間に制作される視覚芸術です。展示室に彫刻を置くと、その周りには彫刻が影響を及ぼす「空間」が生まれます。

美術館のロビーにあるヘンリー・ムーアの〈着衣の横たわる母と子〉はご覧になられましたか。横たわる母親の腕の中に幼子が眠るこの作品は、ムーアの特徴のひとつである「空洞」を備えています。ムーアは、塊としての彫刻に新たな空間性を導入し、現代彫刻に多大な影響を与えました。今回は彫刻とあわせて、ムーアによる版画作品もご紹介します。版画集〈彫刻のためのアイデア〉は、彫刻を制作する前の作家のスケッチブックをのぞくような魅力を持っています。また、建畠覚造による作品も併せてご紹介します。建畠は初期にムーアの影響を受け、有機的な形の作品を制作していました。両者の作品を見比べながら、造形と空間の関わりに注目してご覧ください。

アルベルト・ジャコメッティは、「見えるものを見るままに」表現することに生涯挑み続けました。人物を「見えるまま」に表すために、その人物が占める空間や、その周囲に広がる空気、距離までも捉えようとしていました。そうした試みの中で、彼の彫刻は次第に小さくなっていきましたが、その縮小に抗うようにより大きな像を作り始めると、今度は形が極端に細くなっていったといいます。

アントニー・ゴームリーによる、自身の身体を型取った彫刻は、彼の「分身」であると同時に、身体がすっぽりと収まる「容器」ともいえます。その「容器」は、肉体だけでなく意識までも収納し、私たちに内と外、身体と世界との関係について思考を促します。

展示室1「現代版画」パネル 1/4

白と黒の世界 1

白と黒の2色だけで表現された版画作品をご紹介します。今回は、その中でも銅版画に焦点を当てます。

長谷川潔は、日本でまだ銅版画の技法が十分に普及していなかった時代にフランスへ渡り、生涯その地で活躍しました。当時廃れてしまっていたメゾチント技法の復興に尽力し、風景や小鳥、静物などを静かで神秘的に描き出しました。

駒井哲郎は長谷川より少し下の世代にあたります。当時パリで活躍していた長谷川に強く影響を受け、実際に交流もありました。腐蝕銅版画の技法によって、文学的テーマを持つ心象風景を、豊かな想像力で描き出す作風で知られています。

そのほか、漆黒の闇の中に浮かび上がる女性像を描く斎藤カオルの作品や、浮遊する箱の中に風景が閉じ込められた中林忠良による〈囚われる風景〉シリーズなどもご紹介します。白からグレー、黒へのグラデーションに注目しながらご覧ください。

展示室1「現代版画」パネル 2/4

白と黒の世界 2

白と黒の2色だけで表現された版画作品をご紹介します。今回は、その中でも木版画に焦点を当てます。

ケーテ・コルヴィッツは、ドイツを代表する版画家であり彫刻家です。版画集〈戦争〉は、第一次世界大戦終結後の混乱が続く1921年から23年にかけて制作され、1924年に7点組として出版されました。今回はその中から4点をご紹介します。そこに描かれているのは、兵士たちや子供を亡くした両親たちの姿です。深く力強い彫りが、見る者の心に強く訴えかけます。

萩原英雄の〈ギリシャ神話〉シリーズは、ギリシャ神話を題材にした42点の連作です。伝統的な日本の木版技法を用いながら、西洋の物語を描いています。今回はその中から3点を選びをご紹介します。人物の部分を白抜きで表し、背景には文様のような形が広がります。神々の顔を大胆に大きく描き、キャラクター性を際立たせている点も特徴です。

そのほか、墨一色の力強くプリミティブな作風が特徴の磯見輝夫の作品や、日和崎尊夫と小林敬生による、木を輪切りにした硬質な木口板を版木として用いた木口木版の作品も展示します。白と黒が織りなすコントラストの美しさや力強さに注目しながらご覧ください。

展示室1「現代版画」パネル 3/4

風景版画1

風景を描いた版画作品をご紹介します。作家たちはそれぞれの感性でその景色をとらえています。

秋岡美帆の版画は、風に揺らぐ風景をスローシャッターやアウトフォーカスでぼかして撮影した写真原版をもとに、写真原版をコンピューターで色分解し、そのデータを巨大な紙やキャンバスへ吹き付ける NECO プリント（NEW ENLARGING COLOR OPERATION）と呼ばれる印刷方法を用いてして制作されています。こうした独自の工程により、モチーフは輪郭を曖昧にしながらやわらかく溶けあい、独特の柔らかな世界を生み出しています。

一方、吉田勝彦の作品は、精密な風景描写が特徴です。銅版画集〈森〉は8点からなる版画集です。北海道富良野の原生林と長野県諏訪の入笠山での取材をもとに制作されました。重厚な黒の中に浮かび上がる静謐な情景には、深い精神性が感じられます。

そのほか、廣島晃甫による大正時代のモダンな空気を感じさせる作品や、島州一による物と風景との関わりを見つめた作品などを展示します。版の技法による表現の違いにも注目しながらご覧ください。

展示室1「現代版画」パネル 4/4

風景版画 2

風景を描いた版画作品をご紹介します。今回は、作家たちが想像の中で生み出した風景を描いた作品を集めました。

泉茂は、1950年代にトランプや花、鳥、楽器など、身近なモチーフを擬人化したシリーズを発表しました。顔のついたモチーフたちは、ユーモラスでありながら幻想的な雰囲気を漂わせています。

ジャン＝ミシェル・フォロンによる版画集〈…からの便り〉は、絵はがきのまわりに風景をつなげて描くシリーズです。今回は、ギリシャの島々（キクラデス諸島）、フロリダ、そしてロッキー山脈を題材にした作品を展示します。自由な発想と豊かな想像力にあふれた、旅の記憶のような風景が広がります。

そのほか、マッタによる異形の生命体のような存在が現れる作品や、出店久夫による鏡像的な写真コラージュによって虚実が入り混じる作品も展示します。版の技法による表現の違いにも注目しながらご覧ください。

展示室2「徳島ゆかりの美術」パネル 1/2

徳島ゆかりの美術

当館では、徳島にゆかりがある作家の作品や、徳島の風景や風物に取材した作品を収集しています。

今回は、ゆかりの作家による風景画を中心にご紹介し、絵画の画面における空間表現の違いに注目します。国内はもとより海外へたびたび出かけて風景を描いた三宅克己(1874-1954 年)や、フランスに留学し西洋絵画を学んだ伊原宇三郎(1894-1976 年)、洋画的な日本画に挑戦する一方で、身近にある美しい日本の自然も追求した廣島晃甫 (1889-1951 年)らの作品を展示します。

* 会期中、展示替えを行います。

Art and Artists Associated with Tokushima

The Tokushima Modern Art Museum collects works by artists associated with Tokushima Prefecture, and works inspired by views and subjects unique to the area.

This exhibition introduces landscape paintings by artists associated with Tokushima, highlighting differences in spatial expression within the paintings. This exhibition features works by Kokki Miyake (1874-1954), who frequently traveled around Japan and abroad to paint landscapes, Usaburo Ihara (1894-1976), who studied Western paintings in France, and Kōhō Hiroshima (1889-1951), who challenged himself with Western-style Japanese painting while also pursuing the beauty of Japan's natural landscapes close at hand.

* A part of this exhibition will be changed during the exhibition period.

展示室2「徳島ゆかりの美術」パネル 2/2

空間の作り方

三次元の空間を二次元の平面（絵画）に立体感や奥行きをもって表すために用いられるのが「遠近法」です。一般に「遠近法」と言う場合、狭義にはルネサンス期に確立・発展した、消失点に向かって線を収束させる「線遠近法（透視図法）」のことを指しますが、広義には、「空気遠近法」「色彩遠近法」「上下遠近法」「重畳遠近法」など、多様な方法を含む遠近表現の総称として用いられます。西洋の遠近法が日本に伝えられたのは江戸時代後期のことで、その後の日本の絵画に大きな影響を与えることになりました。

一方、東洋においても独自の遠近表現が追求されてきました。例えば、水墨山水画では「高遠」「深遠」「平遠」の三つの視点を組み合わせる「三遠」と呼ばれる技法があります。また、対象の後ろに広がる「余白」は、何も描かれていない空虚な空間ではなく、観る者の想像力をかきたたせる深遠な世界として広がっています。

同じモチーフを描いていたとしても、国や時代、画家の学んだ背景によってその絵の空間表現は大きく異なります。その多様な表現のあり方に注目しながら、作品をお楽しみください。